

市立病院跡地緑地基本計画(素案)

目次

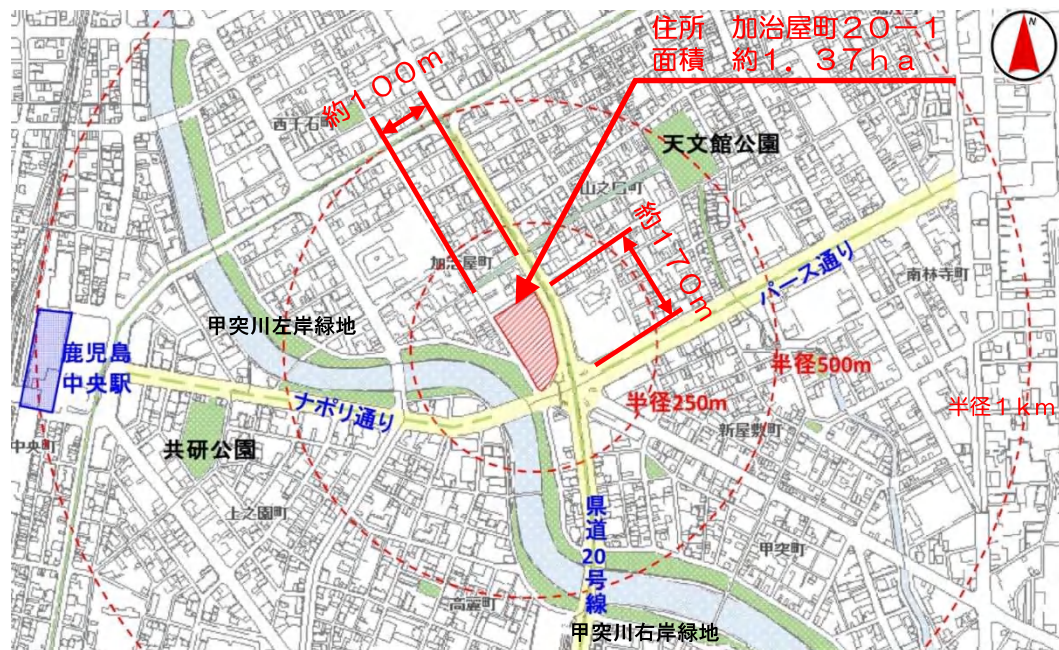
1. 位置図、事業の目的等	1
2. 上位計画での位置付け	2
3. 現況特性	3
4. 課題等及び解決策	4
5. 基本コンセプト、基本方針	5
6. ゾーニング計画	6
7. 整備方針	7
8. 計画平面図、計画断面図	8
9. 整備イメージ図	9
10. 整備スケジュール	10

平成29年 月

鹿児島市 建設局 建設管理部 公園緑化課

1. 位置図、事業の目的等

【位置図】



【現況写真】



<平成29年2月上旬撮影航空写真>

【事業の目的等】

本市では、これまで市電軌道敷の芝生や街路樹などの緑の道に加え、「上荒田の杜公園」や「上町の杜公園」など、市民が憩い、潤いと安らぎを感じることができる都市の空間を創出するとともに、中心市街地を花と緑が彩る回廊として演出し、回遊性の向上に取り組んでいるところである。

しかしながら、鹿児島中央駅や天文館を含む中央地区においては、今後も、民間開発等により居住機能や商業機能が拡充されることが見込まれる一方、緑被率は、市街化区域の平均を大きく下回っており、十分であるとは言えない状況である。

このようなことから、市立病院移転後の跡地（旧本館等跡地）について、近接する甲突川左岸緑地との連たん性などを考慮し、中心市街地の回遊性の向上に資する新たな潤いの拠点となる緑地の整備を行うものである。

2. 上位計画での位置付け

第五次鹿児島市総合計画（平成24～33年度）
後期基本計画（平成29～33年度）

基本目標2 水と緑が輝く 人と地球にやさしいまち 【うるおい環境政策】

基本施策3 うるおい空間の創出

2 緑の保全と花や緑の充実

(1) 緑の保全、緑の育成・創出と機能の充実

豊かさ実感リーディングプロジェクト

4 “花と緑の回廊” 環境創出プロジェクト
(1) 都市の杜づくり

市立病院跡地緑地の整備

鹿児島市立病院跡地利活用基本方針（平成27年2月）

市立病院跡地における緑地の整備方針（平成27年7月）



市立病院跡地緑地基本計画（素案）

➤ 位置特性

- 鹿児島島の陸の玄関口である鹿児島中央駅から約1km、繁華街である天文館から約500mという徒歩圏内に位置している。
- 主要幹線道路に接しており、近くに電停・バス停があることから、交通の利便性が高い。
- 付近には、甲突川左岸緑地、甲突川右岸緑地、天文館公園、共研公園などの公園があり、近接地には国際交流センター（仮称）の建設が予定されている。

➤ 歴史特性

- 維新の立役者となった多くの英傑を輩出した地であり、四方学舎跡という郷中教育が行われた場所である。
- 彫刻家の安藤照（代表作に、西郷隆盛銅像や忠犬ハチ公銅像）の誕生地である。
- 市民の命を守ってきた市立病院の跡地である。
- 周辺に数多くの史跡、復元した武家屋敷などが整備されている。



<四方学舎之跡と安藤照誕生地の石碑>

➤ 景観特性

- 市電軌道敷緑化は、鹿児島市の魅力ある個性となっており、跡地内から眺めることができる。
- ナポリ通り、パース通りは大径木の街路樹が整備されており、夜間景観を演出するライトアップがなされている。
- 甲突川の緑地にはロマンチックオブジェ事業等により設置された芸術性の高い彫刻がまちの気品を高めている。



<甲突川と甲突川左岸・右岸緑地>

➤ 自然環境特性

- 穏やかで清らかな水が流れる甲突川と、その河畔の緑化、大径木の並木など潤いのある都市空間を形成している。
- 甲突川周辺では樹木、花、水鳥・野鳥、昆虫などにより四季折々の自然を感じることができる。

4. 課題等及び解決策

【課題等】

周辺にある甲突川の緑地、共研公園、天文館公園との施設の重複が懸念される



【解決策】

周辺の公園施設のバランスを考慮した緑地整備を検討する

周辺が建築物と主要幹線道路により囲まれた空間となっている



周辺から計画地を望む景観性（見え方）を検討する

敷地標高が低く、8・6水害時には1m程度冠水している



水害時の避難場所としてはふさわしくない。ただし、地震時の一時的な避難場所になり得ることから、最低限の防災施設を検討する

近接地に国際交流センター(仮称)の建設が予定されている



国際交流センター(仮称)からの動線を考慮した施設配置を検討する

外周の歩道は狭く、歩道橋・バス停・電柱・街路樹などで一部通行に支障をきたす場所がある



安心安全に通行できる移動空間の確保を検討する

近接する甲突川左岸緑地は、樹木が多く繁茂しており、奥が見通せない状況やバリアフリー化されていない出入口などがあり、回遊性の確保について課題がある



回遊性向上のため、甲突川左岸緑地の再整備を検討する

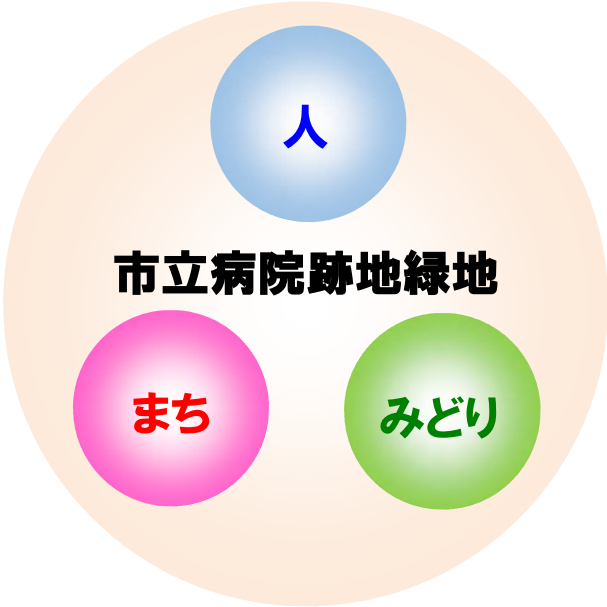
○基本コンセプト



○基本方針

**土地の立地や履歴
を生かした交流拠点
づくり**

- 地域コミュニティ、学びの場
(四方学舎跡地)
- 子供からお年寄りまで全ての人々が楽しく利用 (市立病院跡地)
- イベントによる交流
(アート創作・ガーデニングコンテスト等、彫刻家 安藤照誕生地)
- 外国人との交流
(国際交流センター (仮称) に隣接)



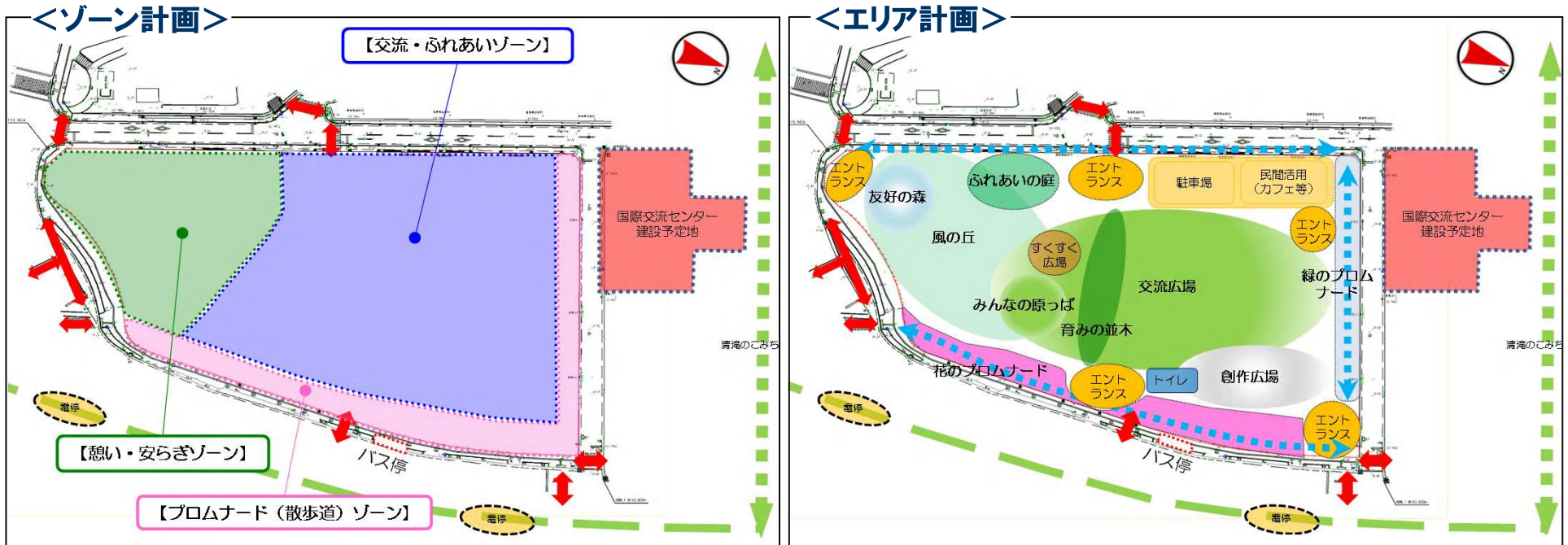
**都心部の回遊拠点と
なる空間づくり**

- 鹿児島中央駅と天文館・ウォーターフロント地区との中間点

**花と緑あふれる憩い
の空間づくり**

- 甲突川右岸・左岸緑地、パース・ナポリ通り、市電軌道敷緑化
- 都市の杜の創出

6. ゾーニング計画



【憩い・安らぎゾーン】

量感あふれる高木等を配置した、潤いや安らぎを感じられるゾーン

【風の丘】
甲突川左岸緑地から違和感なく園内に入り込むような園路と緑を配置

【友好の森】
鹿児島ゆかり、姉妹都市等の樹木や草花を植栽

【ふれあいの庭】
木々や花々に触れ、匂いを嗅ぐなど五感（音、香り、色、感触、味）を通じて憩いや安らぎを感じられるユニバーサルデザインに配慮した庭

【交流・ふれあいゾーン】

さまざまな使い方ができる広場や民間活用等により、賑わいを創出するゾーン

【育みの並木】
命を育んできた旧市立病院の建物をイメージした並木により、記憶を継承するまた、木陰でさまざまな活動を行える空間

【交流広場】
日頃の地域コミュニティの場、イベントや災害時の一時的な避難場所など多目的に利用出来る広場

【創作広場】
屋外で創作するアートを楽しみながら憩うことの出来る空間、イベント利用も可能

【みんなの原っぱ】
芝と多少の雑草などがある自由な空間

【すくすく広場】
3歳未満児が安心して遊べるフェンスで仕切られた専用広場

【民間活用エリア】
設置管理許可制度等を活用し、民間事業者が景観にマッチしたカフェ等を設置し、緑地の維持管理を行うことで、維持管理費の低減や緑地の魅力向上を図る

【プロムナード(散歩道)ゾーン】

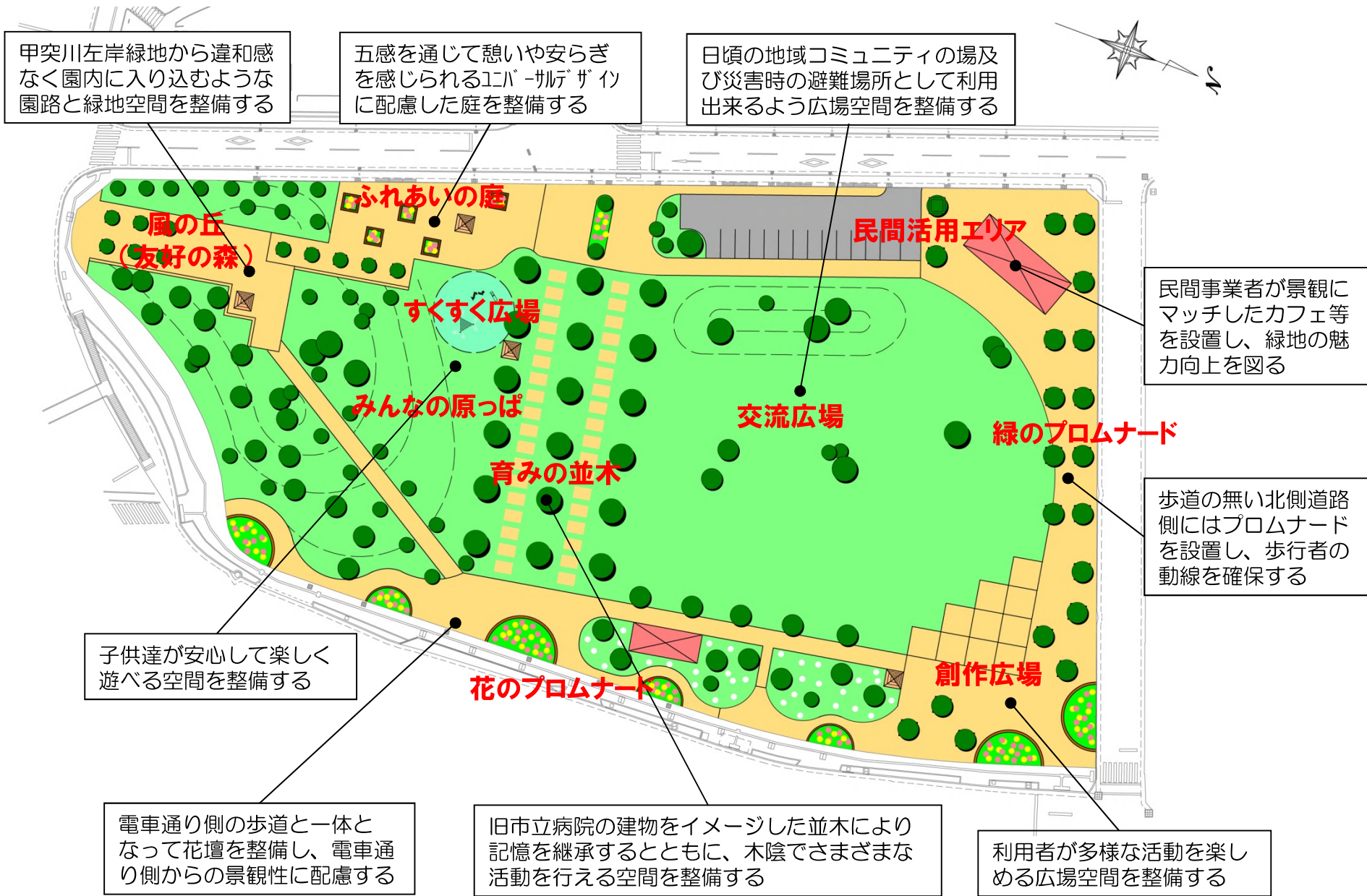
周辺道路と一体となった花や緑の自然を感じることが出来る散歩道

【花のプロムナード】
電車通り側の花壇により、四季折々の花風景を楽しみながら季節を感じることが出来る空間

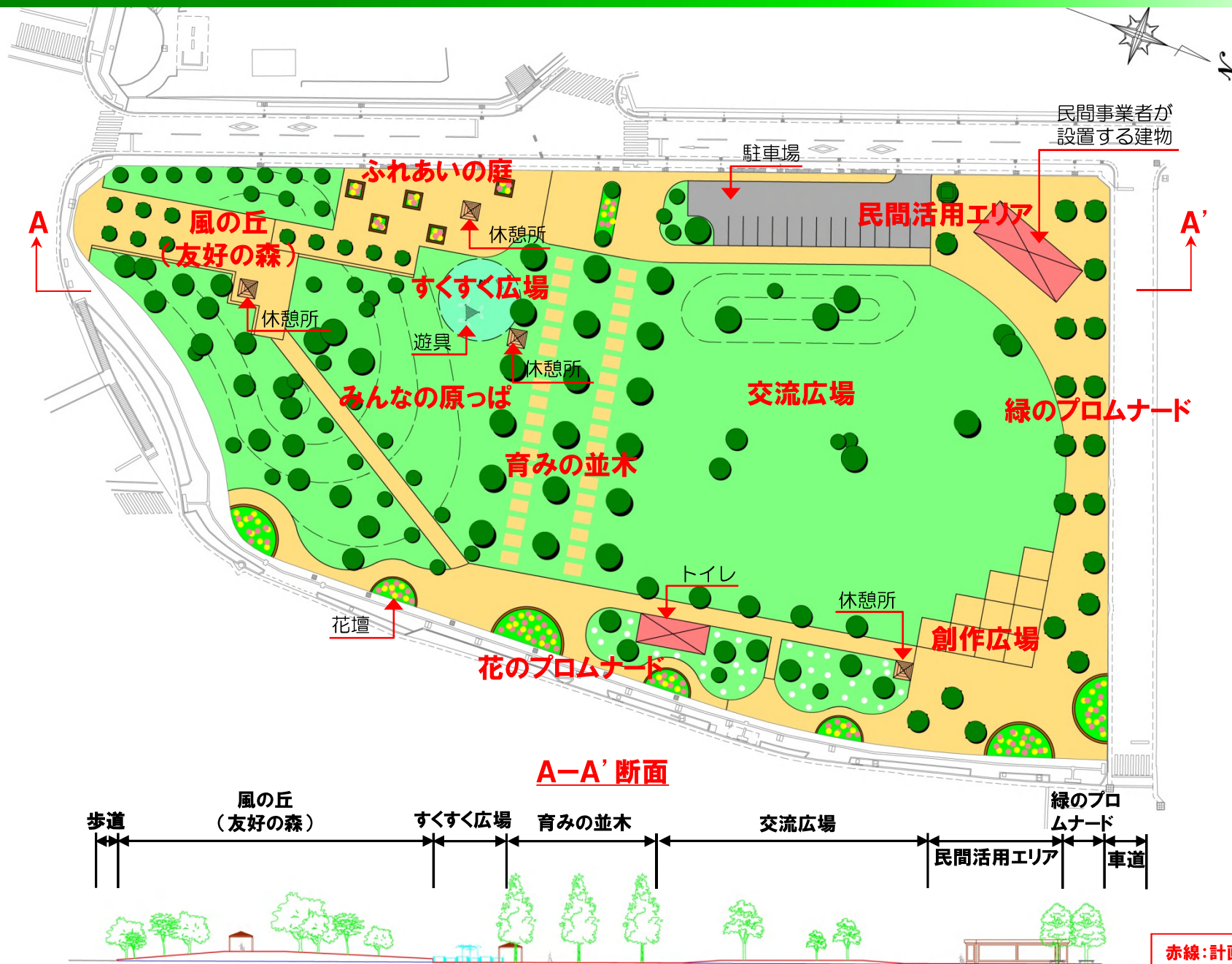
【緑のプロムナード】
直線的に並木により、街なかの風の道として、街の清潔さや緑の爽快感を印象づける空間

7. 整備方針

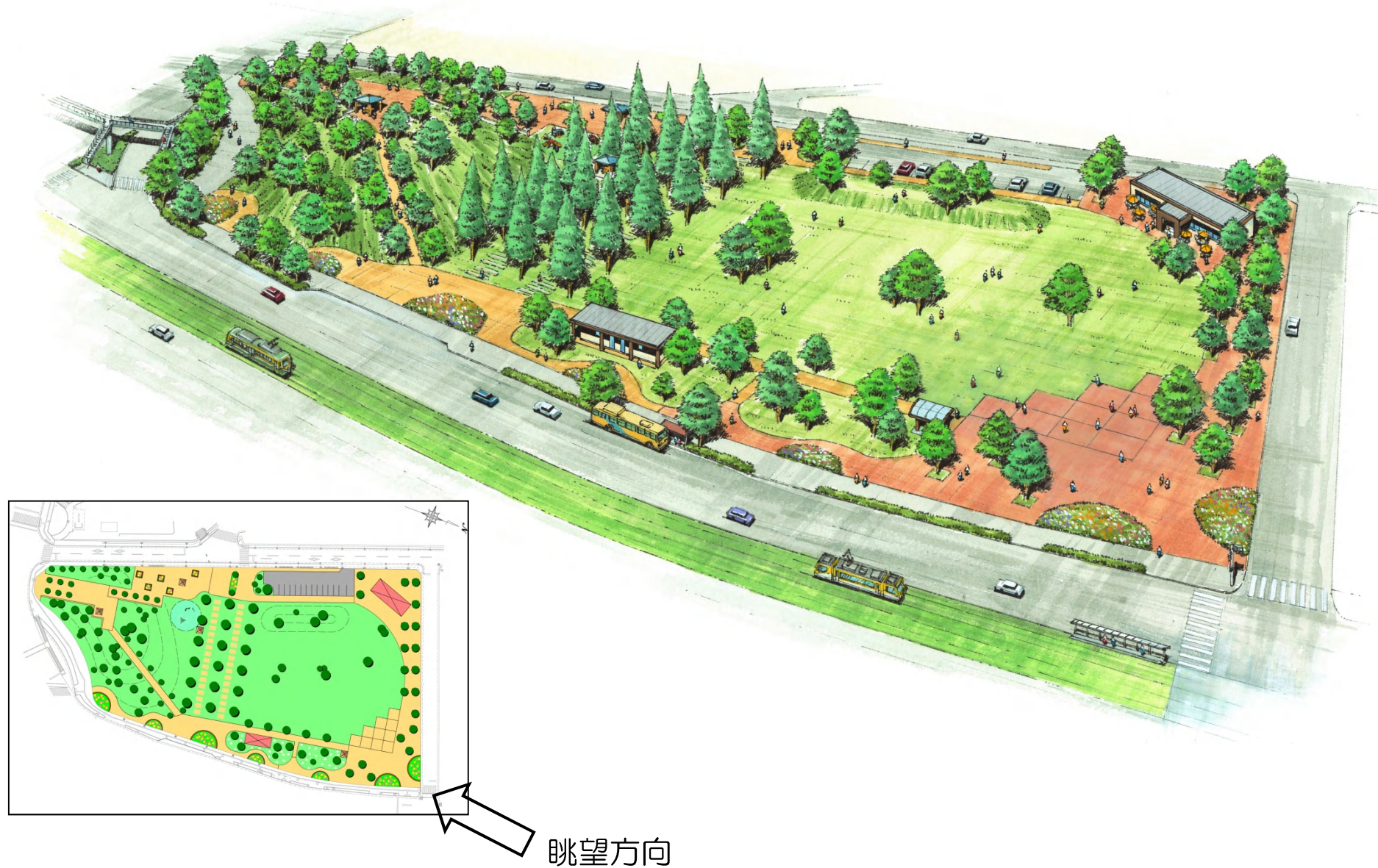
➤ 整備内容の検討に当たっては、周辺の公園にある施設との機能分担を図ることとする



8. 計画平面図、計画断面図

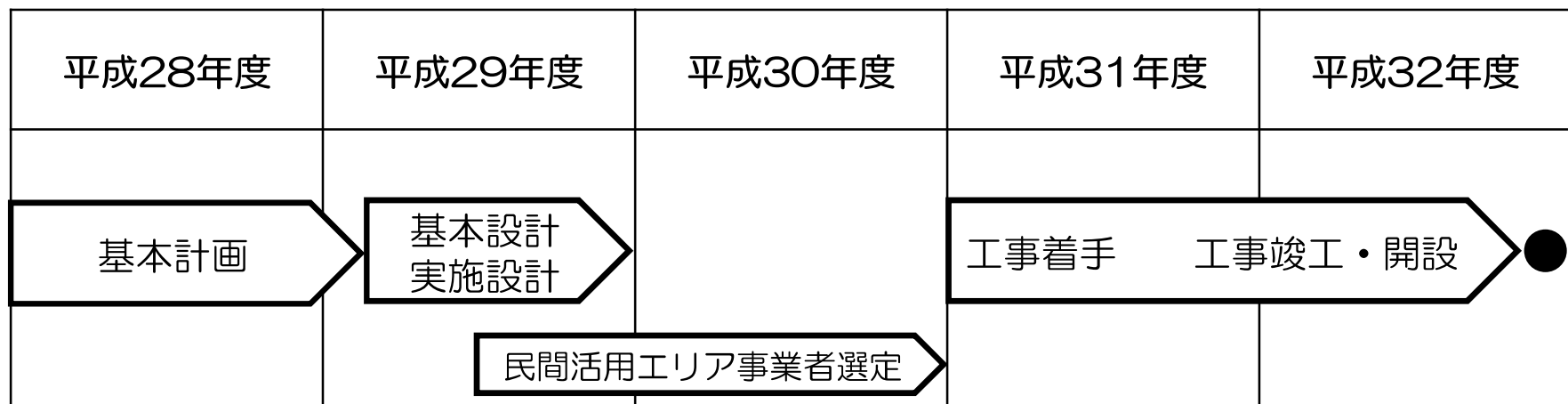


9. 整備イメージ図



※整備イメージ図は基本計画（素案）時点のものであり、今後の基本設計・実施設計により変更となる場合があります。

10. 整備スケジュール



※整備スケジュールは基本計画（素案）時点のものであり、今後変更となる場合があります。